



ご当地 歯垢.com 茨城

No.627

茨城県歯科医師会
Ibaraki Dental Association

November

2021
令和3年

11

茨 歯 会 報

崩される前に...!!

6424



Contents

デンタルアイ	1
鶴屋 誠人	
会務	4
理事会報告	7
会務日誌	9
専門学校だより	14
寄稿	15
田中 晃伸	

表紙写真について

令和3年度「歯と口の健康に関するポスター」中学生の部 知事賞 朝田滯香さんの作品

「子どもたち」についての医療連携



副会長
鶴屋 誠人

この度副会長を拝命いたしました鶴屋誠人と申します。榊会長のもと微力ではございますが、会員の皆様のお役に立てるよう努めて参りたいと思います。よろしくお願ひ申し上げます。

近年「子どもの貧困」という言葉を耳にする機会が増えています。2012年「国民生活基礎調査」から6人に一人が平均的な所得の半分以下の世帯で生活していることが明らかになり、その翌年「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が制定され生活、教育、就労、経済的支援が計画実施されました。しかしながら2019年の調査においても18歳未満の子どもの貧困率は13.5%とおおよそ7人に一人の割合となっています¹⁾。この貧困とは生きる上で必要最低限の生活水準が満たされていないいわゆる「絶対的貧困」ではなく、その国や地域の水準と比較して、大多数よりも貧しい「相対的貧困」で表されます。世界的にみても2017年OECDの発表によると日本は先進国35カ国中7番目に高い貧困率となっております²⁾。さらにひとり親家庭では子どもの貧困率は5割近くにもなっています。しかしながら、周囲の目を気にして自らが支援を求めることが少ないため子どもの貧困は見えにくいと言われています。さらにここ2年は新型コ

ロナによる影響も大きく、本年7月に報告された困窮世帯1469件へのアンケート³⁾では以下のことが明らかにされました。

- ・年収200万円未満の家庭が6割を超えており、2021年はさらに減収する見込み。
- ・二人親家庭も一人親家庭と同様に困窮し、子育て環境、健康等に大きな課題を抱えている。
- ・生活環境の変化等により保護者の心身の健康状態にも影響が生じている。
- ・子どもの学習環境が悪化し、進路や将来に深刻な影響が懸念される。
- ・食事の質や量が悪化。子どもの成長に影響する可能性がある、等。

特に子どもの食事に関しては食事の質の悪化に加えて「食事をスナック菓子などのおやつで代替することが増えた」との回答が17%に見られました。

茨城県では子どもの貧困に関係する値として生活保護給付世帯やひとり親世帯数を挙げており⁴⁾、それによると両者とも全国平均より増加率は高くなっており、それらへの対策も行われているようですが、健康格差に関しては触れられておりません。ご承知のように入食は学童期の疾患のなかで常に高い罹患率を示していま

す。この罹患状況は家庭環境や経済状況と関連することが明らかにされており、特に当県においては3歳児および12歳児う蝕罹患率ともに常に全国平均を上回る状態が続いております。

あくまでも予防可能な疾患ですので、このような観点からも就学前施設、学校でのフッ化物洗口は健康格差是正のための有効な手段のひとつです。現在実施に向けて検討中なのですが、モデル校選定について行政との協議の中で、学校薬剤師など学校医間で知識や意識を共有することも必要との意見が出ました。そこで6月に県教育委員会を介して県学校薬剤師会の先生方にWEBにより「茨城県の子どものう蝕罹患状況とフッ化物洗口の効果」について土浦市歯科医師会長谷川周会長を講師として、また日大松戸歯学部元教授小林清吾先生をオブザーバーとして講演会を開催しました。

その結果、学校薬剤師の先生方はう蝕が子供達に多い疾患であるにもかかわらず受診率があまり高くないこと等は認識されているが、フッ化物の予防効果や洗口に関しては広くは理解されていないことが判りました。その他おおむね以下のような感想がありました。

- ・茨城県の児童のう蝕罹患率の高さ、フッ化物洗口の効果など全く知らないことばかりであった。学校薬剤師として協力したい。
- ・学校におけるフッ化物洗口が有意義であることがわかった。モデル事業を成功させて健康格差をなくしていくことが重要である。また学校薬剤師として学校、家庭の不安などを払拭するよう協力したい。
- ・家庭環境による口腔内環境の格差について養護教諭と話題になったことがある。それを少しでも改善できるのであれば取り入れてほしい。

- ・日本の中でもこんなに地域差があることは知らなかった。
- ・フッ素の毒性を心配していたが払拭された。
- ・賛否様々な意見があることは聞いていたが、科学的根拠や実例をあげて啓発し続けてもらいたい。
- ・他県出身だが、小学校時学校でフッ化物洗口していたことを思い出した。家庭での実施よりも学校の方が望ましいと思う。

また県小児科医会から健診や診察時に口腔内の状態から小児科医としてアドバイスするための簡単なリーフレットをもらえないかとのお話がありました。そこで小児歯科指導医田中晃伸先生、専門医塩野康裕先生のご協力ものと小児科医向けと保護者向けのリーフレットを作成しました。

なお、保護者向けのリーフレットは県歯 Facebookに掲載しています。

これらもまた違ったかたちの医療連携かと思えます。

健康寿命の延伸は全ての人にとっての重要な課題であり、私たち歯科に携わる者のテーマでもあります。人生の早い段階で生じうる健康格差の解消に寄与できるのも、また私たちでしょう。

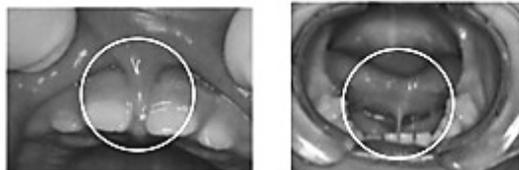
- 1) 厚労省 2019年国民生活基礎調査
- 2) OECD経済審査報告書 (2017)
- 3) 内閣府第17回子どもの貧困対策に関する有識者会議 資料5 (2021)
- 4) 茨城県子どもの貧困対策に関する計画 (平成28年)

小児科医への口腔内情報提供

- ・ 生後6ヶ月前後でまず下の乳歯前歯が萌出する
- ・ 稀に新生児や生後2、3ヶ月以前に生えている場合がある（先天歯）
これにより乳首を咥んだりして授乳障害を起こすこともある→歯科へ
- ・ およそ2歳半～3歳で乳歯上下20歯が生え揃う
- ・ 5～6歳くらいになると順次永久歯に生え替わっていく

- ◆ むし歯原因菌群は3歳くらいまでに主に母親から感染するとされており、特に生後19～31週は「感染の窓」と言われている時期である。それまでに保護者の虫歯は完治させておくことはお子さんにとっても大切である。

- ◆ 上唇中央部 歯肉と唇のスジ（上唇小帯）
舌の裏のスジ（舌小帯）の付着異常



→ 不正な歯並びや、発音構音障害の原因となる可能性がある

- ◆ むし歯が多い

→ 卒乳ができていないか：離乳食以降も就寝時に哺乳瓶でミルクや糖を含む飲料水を与えていると一気にむし歯が広がる「哺乳瓶う蝕」になりやすい



→ 他に不自然な裂傷等あればネグレクト、虐待の可能性あり

- ◆ お口ボカン（口唇閉鎖不全）

保護者に対する問診などで口が開いた状態での時間が長い場合
口腔機能発達不全症を疑う。

口腔機能発達不全症：明らかな摂食機能障害の原因は認められないが、食べる機能、話す機能などが十分に発達していないか、正常に機能獲得ができていない状態。
口呼吸になりやすく、そのために歯肉炎や口臭が生じやすくなり、また風邪、インフルエンザなどの感染症にもかかりやすくなる。さらに口呼吸の子供達は集中力が低下する傾向にありその結果学習、記憶能力の低下につながると言われている。

- ◆ 4歳未満の乳歯早期脱落（通常6歳前後での前歯脱落が普通）

低フォスファターゼ症（HPP）が疑われる

主に下前部の乳歯が折れずに歯根ごと早期に脱落している場合、また残存する歯に動揺がみられるような場合にはHPPを疑う

茨城県歯科医師会

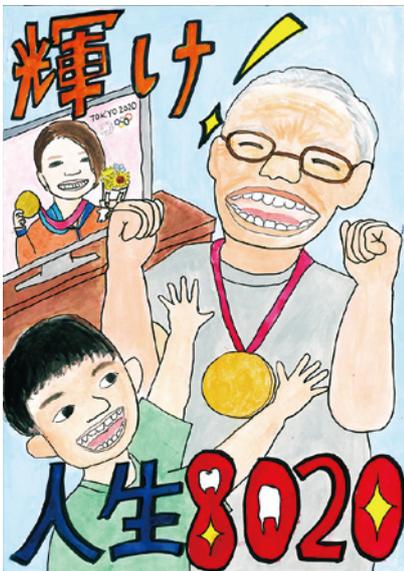
会務

令和3年度歯のポスター優秀作品決まる

令和3年度「歯と口の健康に関するポスターコンクール」審査会が9月8日（水）午後2時から茨歯会館において開催された。

今年は、新型コロナウイルスの影響により応募数が例年に比べ減少したものの小学校278点、中学校50点の応募があり、厳正な審査の結果、次のとおり決定した。

小 学 校 の 部



知事賞 野口 啓永
阿見町立阿見第一小学校6年



教育長賞 江幡 ひなの
茨城町立青葉小学校3年



歯科医師会長賞 小林 華蓮
水戸市立梅が丘小学校3年

中 学 校 の 部



知事賞 朝田 澪香
つくば市立谷田部中学校 8年



教育長賞 落合 柚杏
常総市立水海道中学校 1年



歯科医師会長賞 庄司 すみれ
北茨城市立中郷中学校 2年

令和3年度 歯と口の健康に関するポスターコンクール入賞者名簿

小学校の部

賞名	氏名	学年	学校名
知事賞	野口 啓 永	6年	阿見町立阿見第一小学校
教育長賞	江幡 ひなの	3年	茨城町立青葉小学校
歯科医師会長賞	小林 華 蓮	3年	水戸市立梅が丘小学校
優 秀	高橋 ひより	3年	龍ヶ崎市立龍ヶ崎西小学校
	川村 愛 衣	6年	つくば市立手代木南小学校
	株木 初 菜	6年	つくば市立秀峰筑波義務教育学校
	関本 誓 星	3年	結城市立結城西小学校
	篠崎 迅	6年	桜川市立雨引小学校
佳 作	横田 大 渡	3年	鹿嶋市立波野小学校
	福田 悠 真	3年	石岡市立石岡小学校
	仲野谷 真 央	6年	石岡市立杉並小学校
	川口 新 菜	3年	阿見町立阿見小学校
	島田 英 怜 奈	3年	守谷市立黒内小学校
	大島 和 純	6年	つくば市立小野川小学校
	亀田 陸 斗	3年	つくばみらい市立十和小学校
	井上 美 咲	6年	つくばみらい市立伊奈東小学校
	花井 陽 奈	3年	常総市立三妻小学校
	田村 茉 央	6年	境町立森戸小学校

中学校の部

賞名	氏名	学年	学校名
知事賞	朝田 滢 香	8年	つくば市立谷田部中学校
教育長賞	落合 柚 杏	1年	常総市立水海道中学校
歯科医師会長賞	庄司 すみれ	2年	北茨城市立中郷中学校
優 秀	布施 智 花	2年	常陸太田市立里美中学校
	本宮 雛	3年	神栖市立神栖第二中学校
	森谷 月 奈	1年	筑西市立下館西中学校
佳 作	加古 真優奈	3年	日立市立日高中学校
	青山 海 月	1年	石岡市立石岡中学校
	清水 美沙葵	2年	守谷市立御所ヶ丘中学校
	佐柄 花 歩	2年	結城市立結城東中学校
	爲我井 夢 乃	1年	八千代町立八千代第一中学校

理事会報告

第7回理事会

日 時 令和3年9月16日（木）午後4時

場 所 茨城県歯科医師会館 会議室

報告者 柴岡 永子

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 連盟報告

4. 報 告

(1) 一般会務報告

(3) 開業予定の歯科医院について

(4) 疾病共済金の支払いについて

水戸地区 1名 61日

西南地区 1名 25日

(5) 令和3年度「茨城県親と子のよい歯のコンクール」「8020高齢者よい歯のコンクール」「茨城県歯科保健賞」の選考結果について

(6) 珂北歯科医師会からの寄贈品について

(7) 市町村医療福祉費支給制度（市町村単独事業分）の対象範囲の拡大等について

(8) 令和3年度茨城県がん検診推進強化月間の後援について（依頼）

(9) 後援名義の使用について（申請）【茨城県作業療法士会】

(10) 日本補綴歯科学会東関東支部の学術大会開催予定について

(11) 茨城県歯科医師会HPへの「がん医科歯科連携の流れと周術期口腔管理関連資料」の掲載について

(12) 各委員会報告について

医療管理委員会、広報委員会、地域保健委員会、介護保険委員会、学校歯科委員会、社会保険委員会、専門学校

(13) その他

5. 協議事項

(1) 入会申込みの受理について

河住 武先生 水戸地区 2種

日歯大卒 承認

鈴木希往先生 東西茨城地区 2種

日大松戸卒 承認

(2) 令和3年度第1回地区会長協議会提出議題(案)について

(1) 小林常務理事 (2) 北見常務理事

(3) 渡辺専務理事

(3) 令和3年度関東地区歯科医師会役員連絡協

議会の開催について

第1分科会 榊会長、大字副会長、

渡辺専務理事

第2分科会 大野理事、鶴屋副会長、

小野寺常務理事

(4) 茨城県保健福祉部との協議会等開催方針及

び要望書の提出について前年通りとする

(5) サーベイメーターについて各地区における

状況を情報交換、確認した

(6) その他

県内の専門学校は情報共有できるよう図ることとする

【今後の行事予定について】

10月14日 (木)

15時から 第8回理事会

17時から 第1回地区会長協議会

10月21日 (木)

13時30分から 関東地区歯科医師会役員
連絡協議会 (WEB会議)

11月18日 (木)

16時から 第9回理事会



株式会社岩瀬歯科商会 と 株式会社ウチャヤマ は ヘンリーシャインジャパンイースト株式会社 に社名変更いたしました



事業所案内

宇都宮支店	宇都宮市平出工業団地37-6	TEL:028-613-5858
水戸支店	水戸市白梅2-8-18	TEL:029-225-6543
松戸支店	松戸市幸谷1504-4	TEL:047-345-3131
千葉支店	千葉市中央区浜野町879-1	TEL:043-305-1182
上野支店	台東区台東2-23-7	TEL:03-3832-8241
古河支店	古河市下山町9-60	TEL:0280-30-1582
福島支店	福島市鎌田字卸町4-1	TEL:024-552-1161
世田谷支店	世田谷区玉川台2-11-17-101	TEL:03-5491-7595
練馬営業所	練馬区豊玉北4-14-11 1F	TEL:03-5912-1180
横浜支店	横浜市磯子区中原2-1-19 1F	TEL:045-770-4182
前橋支店	高崎市京目町176-2	TEL:027-350-8241
厚木支店	厚木市酒井2087-14	TEL:046-228-5550
大宮支店	さいたま市見沼区東大宮7-41-1	TEL:048-688-1740
盛岡上堂支店	盛岡市上堂1-6-5	TEL:019-648-2777
盛岡本宮支店	盛岡市本宮6-24-43 1F	TEL:019-635-7750
東大和支店	東大和市立野3-640-1	TEL:042-590-5770
つくば営業所	つくば市花室940-6	TEL:029-863-0720
仙台支店	仙台市若林区荒井5-7-6	TEL:022-794-7066

改めまして、私たちはヘンリーシャインジャパンイーストです！

We try best! -for healthy and white teeth-

会務日誌

- 9月16日 第7回歯科助手講習会をWEB講習会として開催し、「共同動作」、「医療安全」についての講義をYouTubeで配信した。
受講者 46名
- 9月16日 第4回広報委員会を開催。会報10月号の編集・校正、日歯モニターの選定、レディースコーナー執筆依頼、Facebookについて協議が行われた。
出席者 柴岡広報部長ほか6名
- 9月16日 第7回理事会を開催。入会申込みの受理、令和3年度第1回地区会長協議会提出議題（案）、令和3年度関東地区歯科医師会役員連絡協議会の開催、茨城県保健福祉部との協議会等開催方針及び要望書の提出、サーベイメーターについて協議を行った。
出席者 榊会長ほか17名
- 9月16日 第2回厚生委員会を開催。新型コロナウイルスPCR検査キットについて協議を行った。
出席者 沼田厚生部長ほか10名
- 9月21日 第6回学術委員会をWEB会議として開催。学術シンポジウムの開催、次年度のシンポジウム講師、第30回茨城県歯科医学会の開催、次年度歯科医学会県民公開講座講師、栃木県歯科医学会について協議を行った。
出席者 鶴屋副会長ほか11名
- 9月25日 専門学校にて第3回体験入学を実施。歯科衛生士科31名、歯科技工士科5名の参加者に対して学校施設説明などを行った。
- 9月26日 介護保険講習会をWEB形式で開催。受講者は会場には参集せず、講師のアポロ・サンズHD看護部長の木本明恵先生の講演の様様をオンライン配信した。
受講者 66名
- 9月28日 第13回県新型コロナウイルス感染症対策協議会がWEB会議として開催され、第5波における主な取組と課題等について協議が行われた。
出席者 榊会長
- 9月28日 地域ケア推進センター第2回連携会議がWEB会議として開催され、各団体の取り組み発表・意見交換等が行われた。
出席者 小野寺常務
- 9月29日 第1回国民健康保険運営協議会がWEB会議として開催され、県国民健康保険特別会計に係る令和3年度当初予算等の概要ほかについて協議が行われた。
出席者 柴岡理事
- 9月30日 第1回裁定委員会を開催。委員長に池野哲之氏、副委員長に若松理氏を選出し、委員の職務について協議を行った。

- 出席者 池野裁定委員長ほか12名
- 9月30日 県へき地医療支援計画策定会議がWEB会議として開催され、令和2年度第2回会議議事録の確認ほかについて協議が行われた。
- 出席者 今湊常務
- 10月7日 専門学校にて指定校推薦入試を実施。歯科衛生士科、歯科技工士の受験者に対し、同日行われた合否決定委員会にて受験者全員を合格とした。
- 10月7日 関東地区歯科医師会会長・専務理事会議がWEB会議として開催され、今後の関プロの在り方、関プロ会長・専務理事の緊急連絡網について協議が行われた。
- 出席者 榊会長ほか1名
- 10月8日 社会保険指導者研修会がWEB方式で開催される。今回も新型コロナウイルスの影響により、YouTubeによるライブ配信形式での開催となり、『歯科医療現場に求められる感染症対策～コロナ禍そして今後～』をテーマとした講演が配信された。
- 出席者 大野理事ほか11名
- 10月10日 マウスガード作製レベルアップ講習会を開催し、インナーフレームLCを用いたハード&スペースタイプマウスガードを作製する座学および実習を行った。
- 受講者 9名
- 10月10日 第5回いばらきスポーツ・健康づくり歯学協議会運営委員会を開催。いばらきスポーツデモンストラ資格更新に係る講習会について協議を行った。
- 出席者 荻野SHPいばらき運営委員長ほか8名
- 10月10日 北関東甲信越HIV感染者の歯科医療情報交換会がWEB形式で開催され、2題の講演の後、HIV感染者に対する歯科医療体制整備のための情報交換会が行われた。
- 出席者 村居常務
- 10月12日 第4回摂食嚥下研修会を開催し、「摂食嚥下機能訓練の実際②」について研修を行った。
- 受講者 59名
- 10月13日 厚生局との指導関係打合せを開催。政府の緊急事態宣言による令和3年度指導計画の変更について協議を行った。
- 出席者 望月厚生局茨城事務所長ほか4名、大野理事
- 10月13日 第5回社会保険正副委員長会議を開催。第6回委員会、疑義、審査、社会保険指導者研修会について協議を行った。
- 出席者 大野社会保険部長ほか2名
- 10月13日 第6回社会保険委員会を開催。疑義について協議を行った。
- 出席者 大野社会保険部長ほか20名



【体験入学】

高校生と社会人を対象とした体験入学を7月28日（水）及び9月25日（土）に実施しました。

歯科衛生士科ではマネキンでのスケーリングやバキューム操作、アルジネート印象練和、ブラッシングなどを体験してもらいました。各分野ごとに学生（3年生）が分かりやすく伝えることに苦戦しながらも、参加者に興味を持ってもらえる様に工夫をしながら説明をしていました。説明の回数を重ねることで学生が自信を持っていく様子が見られました。

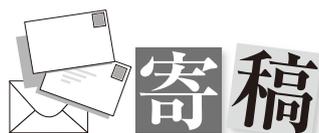


歯科技工士科では、スライドを用いてクラウンや全部床義歯の製作過程の説明を行ったり、石膏の練和から注入・石膏彫刻・CAD/CAMなどを体験してもらいました。参加者は緊張した面持ちで、一生懸命作業を行っていました。



近年は高校3年生に加えて高校1、2年生の参加も多く、進路選択の関心の高さがうかがえます。歯科衛生士、歯科技工士の具体的なイメージについて理解を深めて頂けたら嬉しく思います。

（文責 佐々 小田倉）



乳幼児健診や妊産婦教室における 低ホスファターゼ症の啓発 —健診時に見逃してはならない乳歯の早期脱落—

(社)鹿行歯科医師会 田中 晃伸

ご存じのように低ホスファターゼ症 (Hypophosphatasia; 以下HPPと略す) は体内のアルカリホスファターゼの欠損によって発症する病気であり難病指定とされている。

図1に示すように歯科領域と関連性のある骨系統疾患では多くを占める疾患である。

本疾患の本態は割愛させていただくが(公益法人日本小児歯科学会のホーム・ページに掲載)、重症型のHPPでは90%が2~3才において死に至っている。

しかし、最近の酵素補充療法によって90%と高い生存率の結果が出ている。この酵素補充療法は早期に行うことが効果的と言われている。

実はHPPの早期発見において歯科医は非常に重要な役目を担っている。

本疾患の特徴として、乳幼児期における乳歯の早期脱落がひとつの大きな特徴である(図2)。

つまり、乳幼児健診時において、歯科医療従事者はこの早期脱落に気づき、保護者に対してHPPの可能性があることを示唆し、しかるべき医療機関への受診をすすめるべきである。

要約すれば

乳歯の早期脱落を記録紙に記録することだけ(×)

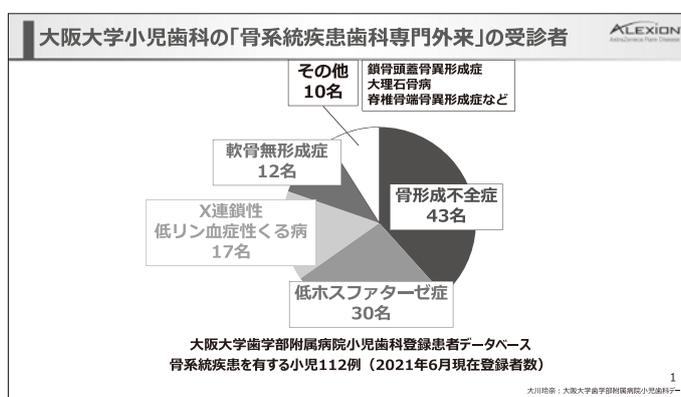


図1 大阪大学小児歯科学教授 仲野和彦先生のご厚意により引用掲載

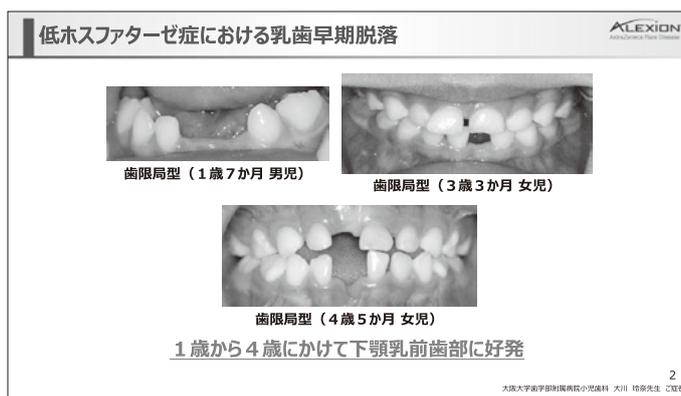


図2 大阪大学小児歯科学教授 仲野和彦先生のご厚意により引用掲載

ではなく

乳歯の早期脱落はHPPの可能性があることを知らせる(○)ことである。

この点を歯科医療従事者が意識するべきである。

すでに小児歯科学会では本疾患と乳歯の早期脱落との関係性を積極的にアピールし、学会員における認知度は極めて高い。

しかしながら乳幼児健診を担うのは何も小児歯科医だけとは限らず、地域の開業医が囑託されているのが一般的と思われる。

ゆえに、本会報を通じて再度乳幼児健診に従事される先生方には“乳歯の早期脱落とHPPの関連性”の認識を高めていただきたいのである。

すでに茨城県内の一部では、本疾患の早期発見やその啓発に努力されておられる先生方がおり、頭が下がる思いである。

ただし、まだ全県的というには程遠い状態であると思われる。

金沢市では金沢大学附属病院が中心となり、乳幼児健診（歯科）でHPPの啓発を促進している（図3）。

最近では神戸市の歯科健診において行政と歯科医が手を組み同様な事業を推進している（図4）。

以上、ここまでは“乳幼児健診時で診る側”の歯科医・歯科衛生士の認知・認識度を歯科界全体として高めようという話であり、以前にも同様な原稿を少し投稿させていただいた。

さて、乳歯脱落の早期発見のもうひとつの視点は、当たり前のことであるが“保護者自身による気づき”がある。

ただし、保護者自身がその異常性とHPPを結びつけることはいささか困難なように思える。

つまり、外傷により単に抜け落ちたとして勘違いし放置する可能性もあるのではないだろうか!?

筆者は開業以来30年以上地域の妊産婦教室（初産婦対象）で歯科的指導を行っており、特に出産後～1歳6か月児健診前の食生活指導（哺乳瓶の使用法・卒乳指導に関して）や口の中に発生す



図3 中部新聞掲載記事



図4 神戸新聞掲載記事

る異常性などを啓発してきた。

その筆者の経験的な感覚として将来保護者となる妊産婦は、極めて真剣で真摯に歯科的な情報を受け止めてくれる。よって、“保護者自身による気づき”とHPPの関連性を高めるためには、この段階における啓発認知が重要と考える。

そこで妊産婦指導・治療に関わっている先生方には、今まで以上に妊産婦に対してHPPに関する情報提供を継続的に行っていただければ幸いである。

その情報提供の媒体はすでにアレクシオンファーマ合同会社で作成されている(図5)。是非、媒体を取り寄せていただき、乳幼児健診・妊産婦指導で活用していただきたいと思う。

因みに、このような原稿を投稿すると「企業からの利益供与を受けているのでは?」という噂を必ずと言っていいほど耳にする。

筆者自身、一円たりとも企業からはいただいたことはない。

このような啓発活動は我々の職業的義務のひとつであると考えている。

また、乳幼児健診において本疾患の可能性を見落とすことは、健診の目的であるスクリーニングの意味をなさないものと同様である。何のために歯科医が囑託されているのであろうか!?

今後、歯科医師会には全体的にこの問題の啓発に取り組んでいただくことを望み、是非、乳幼児健診・妊産婦教室の場にパンフレットの設置をお願いするばかりである。

最後に、本疾患を初めとする難病疾患の研究・臨床に取り組まれている大阪大学歯学部小児歯科学教授仲野和彦先生に謝辞と敬意を述べ、終わらせていただく。



図5 保護者向けの媒体

アレクシオンファーマ・メディカル
 インフォメーションセンター：0120-577-657
 もしくは筆者に問い合わせしていただければ
 媒体の送付をさせていただきます。
 (ただしメールのみに限る aoi@sopia.or.jp)

みんなの写真館

Photo Gallery

令和3年度 歯と口の健康に関するポスターコンクール 優秀賞作品

中学生の部



布施 智花



本宮 雛



森谷 月奈

小学生の部



高橋 ひより



川村 愛衣



株木 初菜



篠崎 迅



関本 誓星

会員数

令和3年9月30日現在

地 区	会員数(前月比)
日 立	115
珂 北	143
水 戸	155
東西茨城	72
鹿 行	101
土浦石岡	180 +1
つ く ば	138
県 南	175 -1
県 西	152 -1
西 南	103 -1
準 会 員	7 +1
計	1,341 -1

みんなの写真館写真募集!

このページには皆さんからの写真を掲載できます。表紙写真に関連した写真、ご自宅の古いアルバムに埋もれた写真などをお送り下さい。

1種会員	1,137名
2種会員	74名
終身会員	123名
準会員	7名
合計	1,341名



Ibaraki Dental Association

公益社団法人 茨城県歯科医師会

茨 歯 会 報

発行日 令和3年11月
発 行 茨城県歯科医師会 水戸市見和2丁目292番地の1
電 話 029(252)2561~2 FAX 029(253)1075
ホームページ <http://www.ibasikai.or.jp/>
E-mailアドレス id-05-koho@ibasikai.or.jp

発行人 渡辺 進
編集人 柴岡 永子



この会報には、環境に配慮して植物油インキを使用しております。